YAMAHA

取扱説明書

AXIS
GRAND

YA100

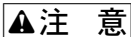
5FA-F8199-J5

JAU09104

はじめに

ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。
車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。
車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。
また、メンテナンスノート、セーフティガイド（スクーターをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。
本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠	**安全にかかわる注意情報を示してあります。**
⚠警　告	**取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。**
⚠注　意	**取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**
要　点	**正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。**

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」「仮保証書」「車両受け渡し確認書」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。

- 車の正しい取り扱い方法
- 日常点検、定期点検整備
- 保証内容および保証期間
- 正式保証書の発行に関する説明

※車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡しください。

※仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

もくじ

JAU03768

JAU01895

安全運転のために

JAU01896

この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。

■安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

JAU09141*

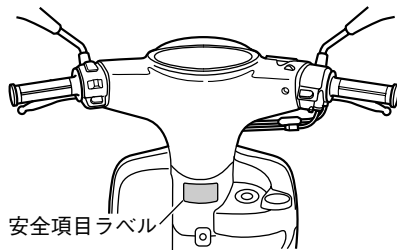
1.あなた自身と同乗者のために

◆安全項目ラベルについて

安全項目ラベル

⚠ 警　告

・取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
・ヘルメットは正しくかぶりましょう。
・マフラーは熱くなります。人が触れにくい場所に駐車する等の配慮をしましょう。
・ヘッドランプを昼間はロービーム点灯しましょう。
・違法改造はやめましょう。
・定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

3XC-2118K-10

運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。

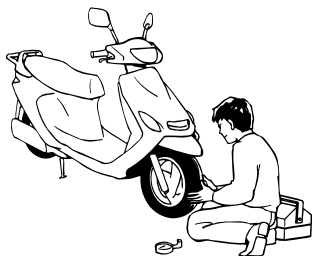
車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。

◆安全運転は正しい服装から

- ヘルメットは必ず着用してください。
  ヘルメットはSまたはSG、JISマークのある二輪車用を必ず着用してください。ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしっくり合って、圧迫感のないものが最適です。
- グローブを必ず着用してください。グローブは、摩擦に強い皮製のものが適しています。
- ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。
- 運転する服装は保護性の高い服で、明るく目立つ色で動きやすく、体の露出が少ない長袖・長ズボンを着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。
  ズボンのすそや袖口の広い服は運転操作のじゃまになり、思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。
- 靴はかかとが低く、運転操作がしやすいものを着用してください。また、くるぶしまで覆われていて足にピッタリしたものを選んでください。
- 同乗者にも上記の注意を守らせてください。

⚠警　告

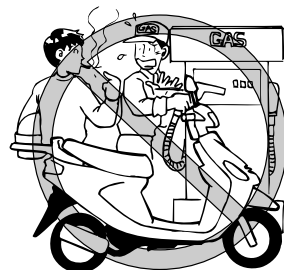
ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。
運転者と同乗者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

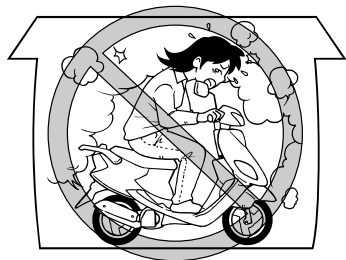
◆日常点検、定期点検整備を必ず行う

事故や故障を防ぐため、法令で定められた日常点検を１日１回運転する前に行ってください。また、法令で定められた6か月、12か月ごとに行う定期点検も必ず実施してください。

◆車の異状

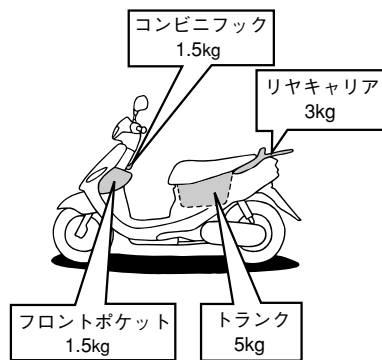
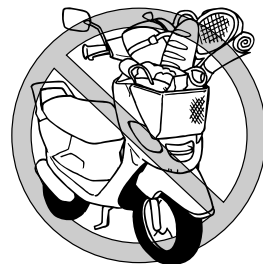
次のような場合は、車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと、走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあり危険です。販売店で点検・整備を受けてください。

- 異音がしたり、異臭や異常な振動があるとき。
- 地面にオイルなどが漏れた跡があるとき。
- 燃料、冷却水のにじみまたは漏れた跡があるとき。

◆給油時は火気厳禁

ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。

◆風通しの悪い場所でエンジンを始動しない

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。
風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

◆荷物を積むときは

コンビニフック 1.5kg
リヤキャリア 3kg
フロントポケット 1.5kg
トランク 5kg

- 上記以外の場所には荷物を積まないでください。
- 荷物を積むと、積まないときにくらべて操縦安定性が変わります。
  荷物を積みすぎると、ハンドルが振られたりして危険ですので、積みすぎないように注意してください。
- フロントバスケット（オプション）から荷物が出ないように注意してください。ハンドル操作の妨げとなったり、ヘッドライトや方向指示灯の配光に支障をきたすことがあります。
- ハンドルの近くには、荷物など、物を置かないでください。ハンドルの近くに物を置くと、ハンドル操作を妨げる場合があります。
- ヘッドライトの前を荷物などでさえぎらないようにしてください。ライトの熱によりヘッドライトのレンズが変色、溶損したり、荷物にまでその不具合がおよぶこともあります。

◆両手はハンドル、両足はフットボード

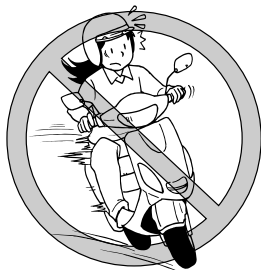
- 運転するときは、両手でハンドルを握り、両足をフットボードにのせます。
- 同乗者には、両手で体をしっかり固定させ、両足を必ずフットボードにのせさせます。

◆押して移動するときはエンジンを止める

車から降りて押して移動するときはエンジンを止めてください。
やむをえずエンジンをかけたまま移動するときは、スロットルグリップを不用意に回さないようにするため、必ず右手でスタンディングハンドルを持って行ってください。
スロットルグリップを持って行うと、思わぬ事故の原因となります。

◆乗車定員は２名

ただし、免許取得後１年未満の運転者は、法令により２人乗りはできません。
フットボードには人を乗せないでください。

◆急激なハンドル操作や片手運転はしない

急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。

◆誤った方法でエンジンを停止しない

誤った取り扱いをすると、マフラーの中の触媒装置が異常に高温になり、損傷するおそれがあります。次のような操作はしないでください。

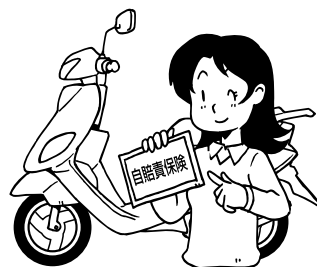
- 走行中にメインスイッチやエンジンストップスイッチでエンジンを停止する。
- 空ぶかし直後にエンジンを停止する。

◆自己流のエンジン調整、部品の取り外しはしない

エンジン調整はヤマハ販売店におまかせください。

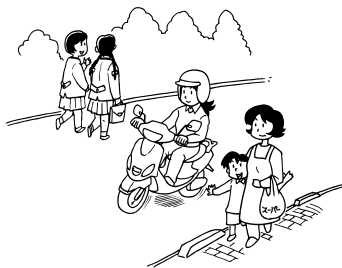
⚠注　意

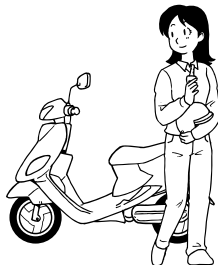
部品交換が必要な場合は正規の規格のものを使用するよう、販売店へ依頼してください。規格が異なった部品を使用すると、故障などの原因となります。

◆自賠責保険に必ず加入

自賠責保険（共済）に加入することは法令で定められています。万一の事態に備えて必ず加入してください。
また、保険の期限切れにも注意してください。

JAU09143

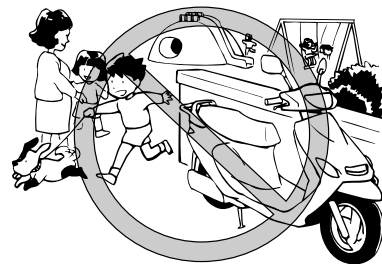
2.歩行者と他の車のために

◆他の人への思いやり

- 交通ルールを守り、まわりの歩行者や車の動きに注意し、相手の立場について思いやりの気持ちをもって通行しましょう。
- 周囲の状況に注意して、安全なスピードで走行してください。
  歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な距離を保つか徐行してください。

◆駐車

- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックとGロックをかけ、キーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。

⚠注 意

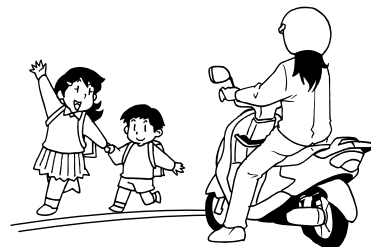
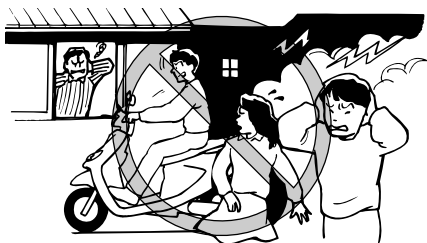
Gロックは、メインスイッチからキーを抜き、後輪の停止を確認してから使用してください。

- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。
  やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。

⚠警　告

- エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。
  また、物などが直接触れないようにしてください。
- 駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。
- マフラーの中の触媒装置は高温になります。枯れ草や紙、オイル、木材など、燃えやすいものがある場所には駐車しないでください。

◆昼間はヘッドライトを下向きに

この車両は自動昼間点灯仕様です。エンジンがかかっている間は点灯しつづけます。他の車や歩行者へ注意をうながし、自分の存在を知らせるためです。対向車がまぶしくないように、ライトは下向きを使ってください。

◆住民の方への思いやり

自分の都合だけを考えて、沿道の方に不愉快な騒音などの迷惑をかけないでください。

特に深夜の住宅街や人通りの多い道路などで長時間のアイドリングや急発進などを行うと、迷惑になりますのでしないでください。

◆違法改造はしない

- 違法改造は法律により禁止されています。
  改造は操縦安定性を悪くしたり、排気音を大きくして車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。
  また、改造すると車の保証が受けられません。
- この車は、排出ガス規制適合車です。
  マフラーには排出ガスを浄化する触媒装置が内蔵されています。他のマフラーをこの車に取り付けると、排出ガス規制に適合しなくなる可能性があります。マフラーを交換する場合は、お買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。
  なお、ヤマハ純正部品のマフラーには”YAMAHA”マークが刻印されています。

◆環境への配慮

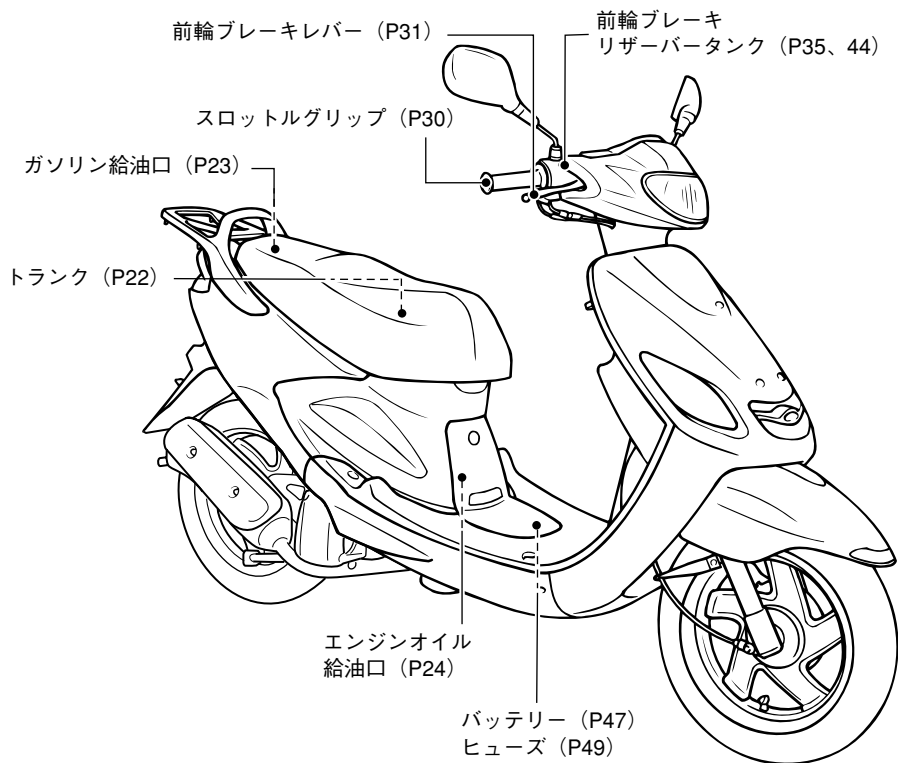
廃車をするときや、バッテリー、廃油などの廃棄処理をするときは、環境保護のためお買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。

JAU01917

名称と操作

JAU01918

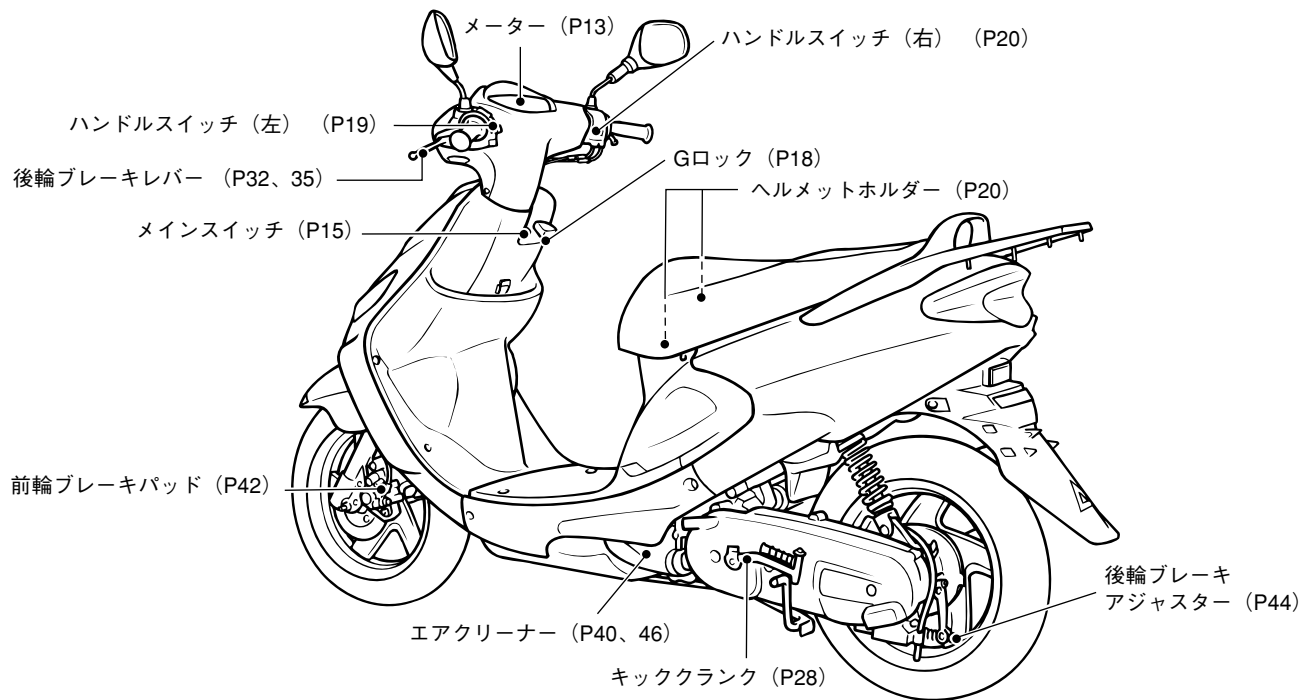
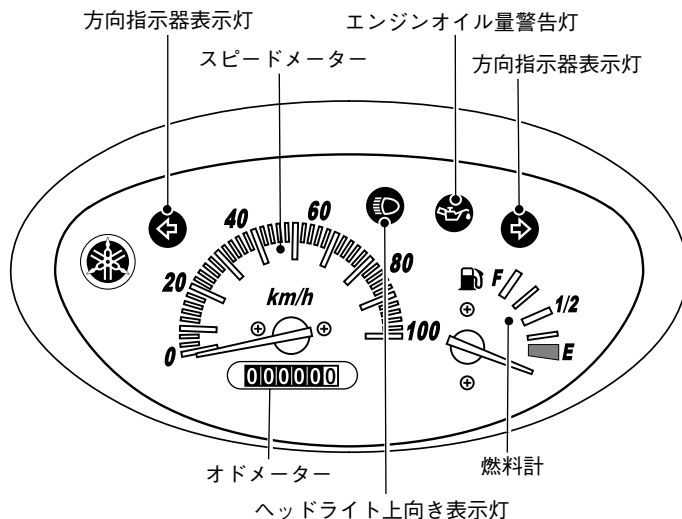
各部の名称

前輪ブレーキレバー（P31）
前輪ブレーキ
リザーバータンク（P35、44）
スロットルグリップ（P30）
ガソリン給油口（P23）
トランク（P22）
エンジンオイル
給油口（P24）
バッテリー（P47）
ヒューズ（P49）

各部の名称を示してあります。（　）内に参照ページがあるものは、そのページに詳しい説明があります。
（……部は外からは見えない部分です。）

メーター（P13）
ハンドルスイッチ（右）（P20）
ハンドルスイッチ（左）（P19）
後輪ブレーキレバー（P32、35）
Gロック（P18）
ヘルメットホルダー（P20）
メインスイッチ（P15）
前輪ブレーキパッド（P42）
後輪ブレーキ
アジャスター（P44）
エアクリーナー（P40、46）
キッククランク（P28）

JAU01919

計器類の見かた

方向指示器表示灯
エンジンオイル量警告灯
スピードメーター
方向指示器表示灯
オドメーター
燃料計
ヘッドライト上向き表示灯

JAU01922

◆スピードメーター

車の速度を指針で示します。

JAU01924

◆オドメーター

走行した総距離を示します。
1ケタ目（白地に黒文字）が100m単位で、2ケタ目がkm単位です。
オイル交換や定期点検整備の目安にもなります。

JAU01944

◆方向指示器表示灯（⇦⇨）

方向指示器に合わせて点滅します。

JAU01945

◆ヘッドライト上向き表示灯（ ）

ヘッドライトを上向き点灯すると、表示灯も点灯します。

JAU01951

◆エンジンオイル量警告灯（ ）

オイルタンク内のエンジンオイル量が規定以下になると点灯し、補給時期を知らせます。

⚠注　意

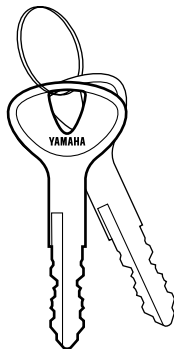
エンジンオイルが不足したまま走行すると、エンジンがこわれる原因となります。走行中にエンジンオイル量警告灯が点灯したときは、早めにエンジンオイルを補給してください。補給すると警告灯は消えます。

JAU04079
◆燃料計（⛽）

ガソリンの残量を示します。
指針が“E”に近づいたら、早めに補給してください。
“E”の位置（下端）でのガソリン残量は約0.7Lです。

要　点

- 燃料計はメインスイッチがONのときにだけ作動します。OFFのときは指針が“E”より下側に移動します。
- 残量の確認は、平坦な場所でメインスタンドを立て、メインスイッチをONにしてください。

JAU04671*
キーの取り扱い

- キーは車の操作や保管をするときなどに使用する大切なものです。キーを紛失しないように、充分に注意してください。
- キーは２本付属しています。１本は予備として大切に保管してください。
- １本のキーを紛失または破損したときは、販売店またはキーショップなどで新しい予備キーを作っておいてください。
- キーを２本とも紛失または破損したときは、販売店にご相談ください。

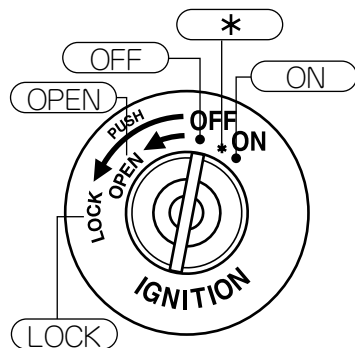
⚠注　意

金属製のキーホルダーは使用しないでください。また、リングなどに複数のキーをつないで使用しないでください。
走行中にキーホルダーや他のキーがカバーなどの部品に当たり、傷付きの原因となる場合があります。キーホルダーは、布製または皮製のものをお勧めします。

JAU02014

メインスイッチ

メインスイッチはエンジンの始動と停止、ブレーキランプや方向指示灯などの電源の「入/切」、ハンドルロック、シートのロック解除を行います。

OFF
*
ON
OPEN
LOCK
PUSH
OFF
ON
OPEN
LOCK
IGNITION

JAU02029

ON

- エンジンの始動ができます。
- エンジンを始動させるとヘッドライト、テールランプ、メーター灯が点灯します。
- キーは抜けません。

JAU02036

OFF

- エンジンを止めます。
  エンジンは始動できません。
- キーの抜き差しができます。

JAU02037

*

- エンジンオイル量警告灯の球切れの確認用です。オイルタンク内のオイル量に関係なく点灯します。

⚠注　意

点灯しないときは、すぐにヤマハ販売店で点検を受けてください。

JAU02038

LOCK（ハンドルロック）

- ハンドルをロックします。
- キーの抜き差しができます。

JAU02042

⚠警　告

走行中にメインスイッチをOFFやLOCKの位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。
メインスイッチは必ず停車中に操作してください。

JAU02045

⚠注　意

- **盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。**
- **メインスイッチをONのままにしたり、エンジン始動後アイドリング状態を長時間続けると、バッテリーあがりの原因となります。注意してください。**

JAU02048

OPEN（シートロックオープナー）

- シートのロックを解除します。
- キーを放すと、キーは自動的にOFFの位置に戻ります。

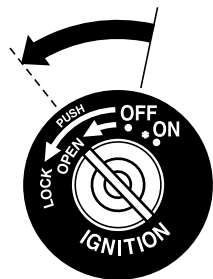
JAU04647

シートの開閉（シートロックオープナーの使いかた）

シートを開けるときは、メインスイッチをOFFからOPENにするとシートロックが解除され、そのまま手で開けることができます。

閉めるときは、シートを手で下ろし、シート後部を押さえてロックします。

要　点

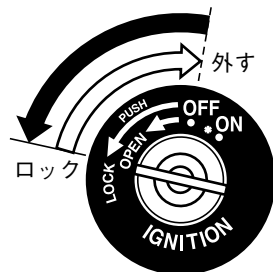
シートが確実にロックされているか確認してください。

⚠警　告

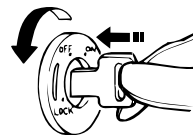
シートを開閉するときは、メインスタンドを立ててください。

JAU02053

ハンドルロック

ハンドルロックは駐車時などの盗難予防用です。

外す
ロック

ロックのしかた

1. ハンドルを左へいっぱいに切ります。
2. OFFの位置でキーを押し込み、そのままLOCKまで回します。

要　点

ロックしにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回します。

3. ハンドルを軽く左右に動かして、ロックを確認します。
4. キーを抜きます。

⚠警　告

- **交通のじゃまにならない場所に駐車してください。**
- **平坦な場所に駐車してください。**
  やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- **エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。**
  また、物などが直接触れないようにしてください。
- **駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。**

⚠注　意

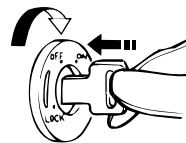
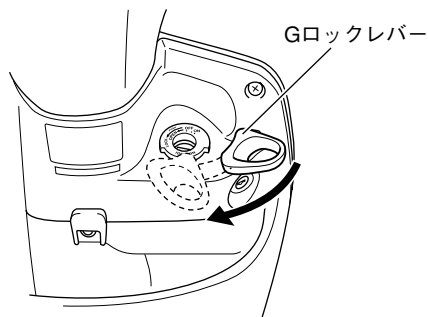
盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。

解除のしかた

キーをLOCKの位置で押し込み、そのままOFFまで回します。

⚠警　告

走行前にハンドルを左右に切り、切れ角が左右均等であるかを確認します。

JAU04047

Gロック（後輪ロック装置）の使いかた

Gロックレバー

Ｇロックはメインスイッチのキー孔をガードし、後輪をロックします。

ロックのしかた

1. ハンドルロックをかけ、キーを抜きます。
2. Gロックレバーを手前いっぱいに引きます。キー孔がガードされた後、レバーは元の位置に戻ります。

要　点

レバーが引きにくいときは、後輪を少し動かしてください。

⚠警　告

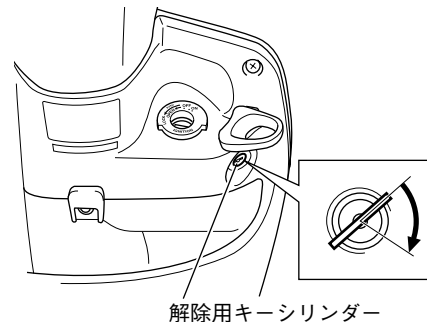
- **交通のじゃまにならない場所に駐車してください。**
- **平坦な場所に駐車してください。**
  やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- **エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。**
  また、物などが直接触れないようにしてください。
- **駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。**

⚠注　意

Gロックはエンジン停止後、キーを抜き、後輪が止まった状態で使用してください。

解除のしかた

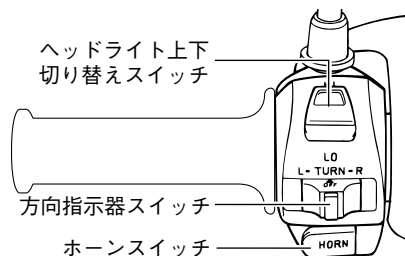
解除用キーシリンダーにキーを差し込み、押しながら時計方向に回すとGロックが解除できます。

解除用キーシリンダー

要　点

サイドスタンド（オプション）使用中などは、Ｇロックが解除しにくいことがあります。Ｇロックが解除しにくいときは、車を軽く前後に動かすなどして後輪を少し動かしてから、解除しなおしてください。

JAU02070

ハンドルスイッチの使いかた

ヘッドライト上下切り替えスイッチ
LO
L - TURN - R
方向指示器スイッチ
ホーンスイッチ
HORN

JAU03916

◆ヘッドライト上下切り替えスイッチ（HI LO）

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。
HI （上向き）：遠くを照らします。
LO（下向き）：近くを照らします。

要　点

先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向きLOにしてください。

JAU03551

◆方向指示器スイッチ（TURN）

進路変更の合図に使用します。
操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。
消灯するときは、スイッチを押します。

R：右側の方向指示灯が点滅します。
L：左側の方向指示灯が点滅します。

要　点

方向指示器を使用すると“カチカチ”音がします。

⚠警　告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は必ず消灯してください。点滅したままにしておくと、他の方の迷惑になります。

⚠注　意

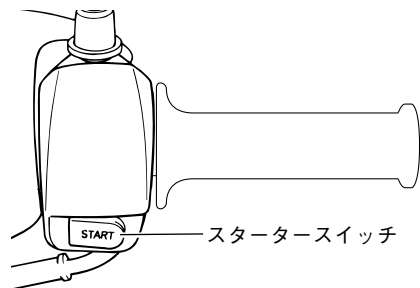
電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。これ以外のものを使用すると、正常に作動しません。

JAU02083

◆ホーンスイッチ（HORN）

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

要　点

必要なときにのみ使用してください。

スタータースイッチ

JAU04013

◆スタータースイッチ（START）

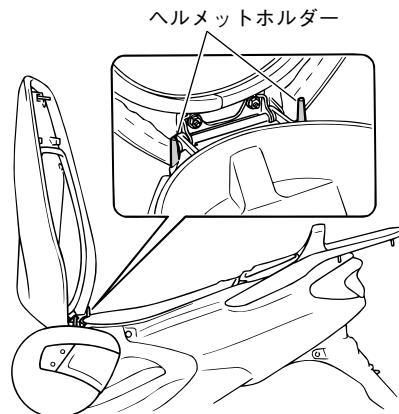
エンジンを始動するスイッチです。
始動するときはメインスイッチをONにし、後輪ブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押します。

注　意

スターターモーターを連続して回転させないでください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因となります。

JAU03919

ヘルメットホルダー

シートを開けるとヘルメットホルダーがあります。ヘルメットのあごひもの金具部分を掛け、シートをロックします。

ヘルメットホルダー

警　告

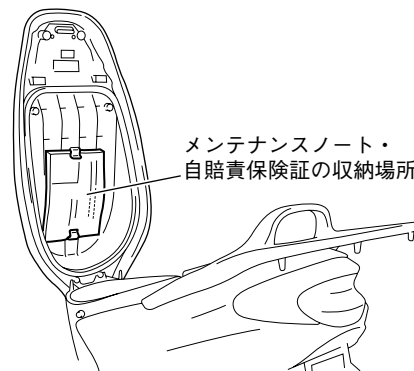
ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。ヘルメットが運転を妨げ思わぬ事故の原因になったり、ヘルメットが損傷し保護機能が低下することがあります。また、車に損傷を与えることがあります。

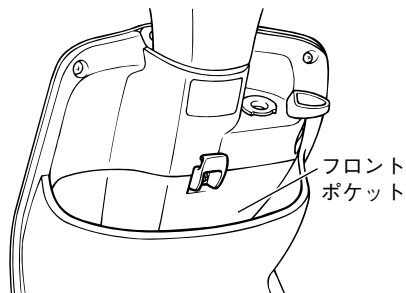
JAU03933

書類入れ

シート裏側に書類収納場所があります。
メンテナンスノート、自賠責保険証はビニール袋に入れて、フックではさんでください。

メンテナンスノート・
自賠責保険証の収納場所

JAU04023

フロントポケット

小物や、1.5Lのペットボトルなどが収納できます。

フロント
ポケット

⚠警　告

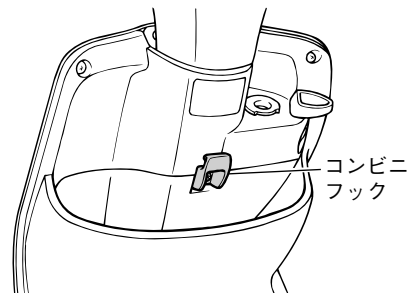
- **フロントポケットに積める荷物は1.5kgまでです。**
- **ハンドル操作を妨げるような積みかたや、走行中に荷物が落下するおそれのあるような積みかたはしないでください。**

要　点

ペットボトルの形状によっては収納できないものもあります。

JAU02243

コンビニフック

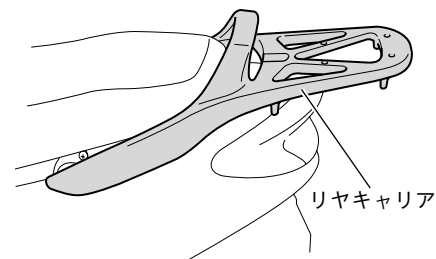
手さげ袋などをこのフックに掛けます。

コンビニ
フック

⚠警　告

コンビニフックに掛けられる荷物は、1.5kgまでです。

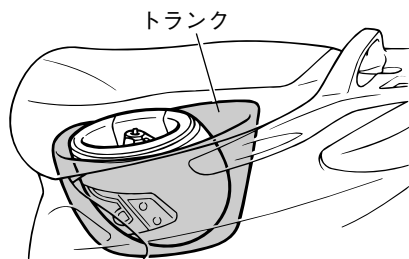
JAU02247

リヤキャリア

リヤキャリアに荷物を積むときは、ひもなどでしっかり固定してください。

リヤキャリア

⚠警　告

- **リヤキャリアに積める荷物は3kgまでです。**
- **荷物を積みすぎると、荷くずれを起こしたりハンドルが振られたりして危険です。**

JAU09105

トランク

トランク

シート下にトランクがあります。
トランク内にヘルメットを収納するときは、ヘルメットを逆さにし、シールドやひさし側を前向きにして収納してください。

⚠警　告

トランク内に積める荷物は5kgまでです。

⚠注　意

- **洗車をすると中に水が入ることがあります。**
  大切なものは、ビニール袋などに入れて収納してください。
- **濡れたものは、ビニール袋に入れてから収納してください。**
  濡れたまま入れると、トランク内にカビなどが発生することがあります。
- **貴重品やこわれやすい物は入れないでください。**
- **トランク内は直射日光などで温度が高くなります。熱の影響を受けやすい物は入れないでください。**
- **車から離れるときは必ずシートをロックしてください。**
- **キーをトランク内に入れたままシートを閉じると、ロックされて開けられなくなります。注意してください。**

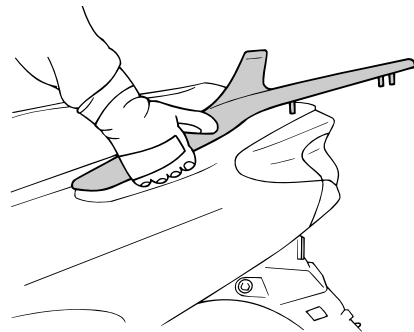
要　点

トランクにはフルフェイスヘルメットが収納可能ですが、サイズ、形状によっては入らないものもあります。

JAU02331

スタンディングハンドル

メインスタンドを立てるときに右手で持ちます。

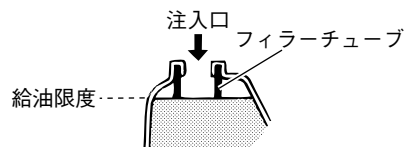
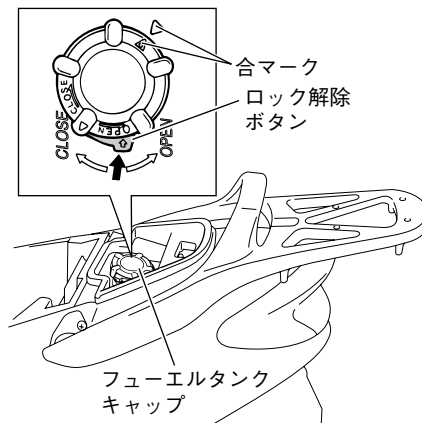
JAU02336*

燃料補給

JAU04596*

ガソリンの給油

⚠警　告

給油時およびガソリンを取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

- **給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。**
- **フューエルタンクキャップを開ける前に、車体などの金属部分に触れて静電気の除去を行ってください。身体に静電気を帯びた状態で給油すると、放電による火花で引火する場合があり、ヤケドするおそれがあります。**
- **給油操作は、必ず一人で行ってください。複数で行うと静電気が除去できない場合があります。**
- **給油は、必ず屋外で行ってください。**
- **セルフサービスのガソリンスタンドで給油するときは、ガソリンの吹きこぼれがないよう、慎重に給油してください。**
- **給油限度（フィラーチューブ下端まで）を超えてガソリンを入れないでください。走行中にガソリンがにじみ出ることがあり危険です。**
- **給油後、フューエルタンクキャップを確実に閉めてください。**

1. シートを開けます。
2. ロック解除ボタンを押したままフューエルタンクキャップを反時計方向に回して開けます。
3. ガソリンを給油します。

タンク容量：約6.5L
指定燃料：無鉛レギュラーガソリン

⚠注　意

- **必ず指定燃料を使用してください。指定以外の燃料を使用するとエンジンの始動性が悪くなったり、出力低下などのエンジン不調の原因となる場合があります。**
  また、エンジンや燃料系の部品を損傷するおそれがあります。
- **こぼれたガソリンは、布きれなどできれいにふき取ってください。**
- **タンクにゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。**

4. 給油後、フューエルタンクキャップを取り付け、時計方向に回します。

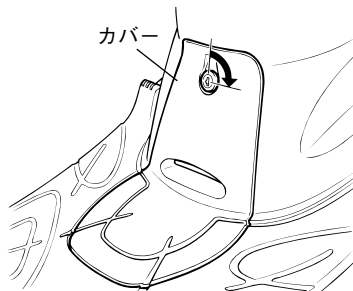
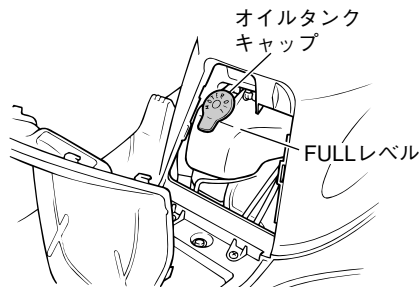
要　点

キャップ側と車体側の合マークがあう位置まで回してください。
正しくロックされるとロック解除ボタンが飛び出します。

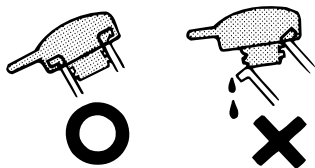
5. シートを閉めます。

JAU04084

エンジンオイルの補給

1. キーを時計方向に回してロックを解除し、カバーを開けます。

2. オイルタンクキャップを外し、エンジンオイルを補給します。

3. オイルタンクキャップを取り付けます。
4. カバーを閉め、キーを反時計方向に回してロックします。

⚠注　意

- **走行中にエンジンオイル量警告灯が点灯したら、早めにエンジンオイルを補給してください。**
- **エンジンオイルの補給は、必ずエンジンを止めて、火気を近づけないでください。**
- **オイルの補給時は、FULLレベル以上入れないでください。**
- **オイルが不足したまま走行すると、エンジン故障の原因となりますので、必ずエンジンオイル量を点検してください。**
- **銘柄やグレードの違うオイルを混入させたり、低品質オイルを使用しないでください。**
- **オイルタンクキャップは確実に取り付けてください。走行中にオイルがにじみ出ることがあります。**
- **オイルタンク付近には布きれなどを置かないでください。エンジンに悪影響を与えることがあります。**

推奨オイル：ヤマハオートルーブスーパーオイル
もしくはJASO2サイクルエンジンオイル規格FCグレード

JAU02374

運転操作

JAU02416

エンジンのかけかた

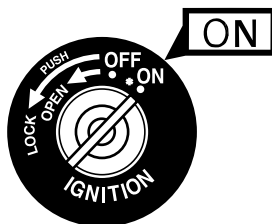
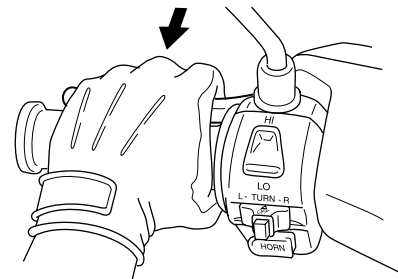
エンジンをかける前に

- エンジンを始動するときは、風通しのよい屋外で行います。

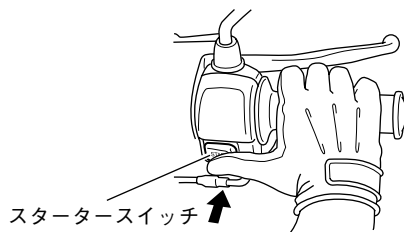
⚠警　告

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。
風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。
エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

- ガソリン、オイル量が充分あることを確認します。
- メインスタンドを立て、必ず車の左側から操作します。

1 メインスイッチをONにします。

2 後輪ブレーキレバーをしっかり握ります。

⚠警　告

飛び出し防止のため、エンジン始動時は必ず後輪ブレーキを作動させます。

3 スロットルグリップを回さずに、スタータースイッチを押します。
エンジンが始動したら、スタータースイッチから指をはなしてください。

スタータースイッチ

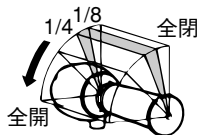
⚠注　意

スタータースイッチで5秒以内にエンジンが始動しないときは、バッテリー電圧を回復させるため、10秒ぐらい休ませてから押しなおしてください。

要　点

- 4〜5回スタータースイッチを押しても始動しないときは、スロットルグリップを1/8〜1/4回すと始動しやすくなります。始動したらすぐに戻します。
キッククランクで始動するときも同じです。

1/4
1/8
全閉
全開

- 長時間ご使用にならなかった場合や、ガス欠をしてガソリンを補給した後などにエンジンが始動しにくいことがあります。このようなときは、スロットルグリップを回さずにスタータースイッチをいつもより長めに押してください。

4 発進する前に、エンジンの回転がなめらかになるまで暖機運転をします。

⚠注　意

外気温が約5℃以下のときは、エンジン保護のため、普段よりも長く暖機運転を行ってください。

JAU04597

◆キッククランクを使用するとき

スタータースイッチでエンジンが始動しないときは、キッククランクを使用してください。

⚠注　意

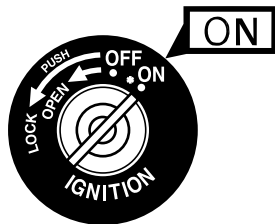
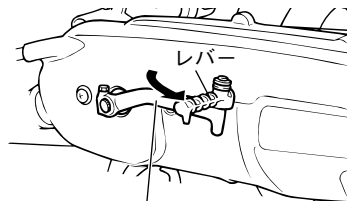
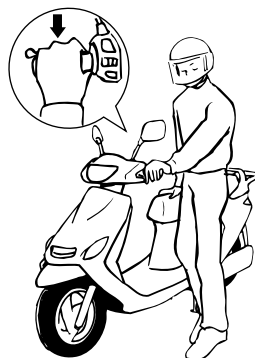
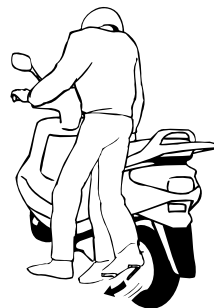
キッククランクを使用するときは、必ずメインスタンドを立てて行ってください。

1. メインスイッチをONにします。

ON

2. レバーを出します。

レバー

キッククランク

3. 左手で後輪ブレーキレバーを握り、右手をシートに置きます。

4. 右足でキッククランクを強くキックします。

5. レバーを元に戻します。

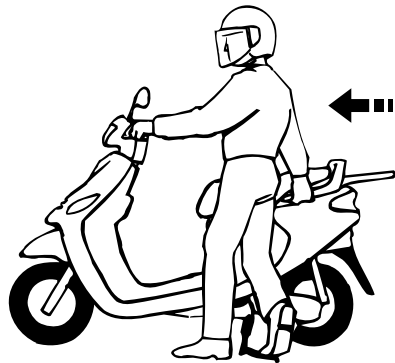
要　点

キックランクのレバーは自動的には戻りません。エンジン始動後、必ず手か足で戻してください。

JAU03927

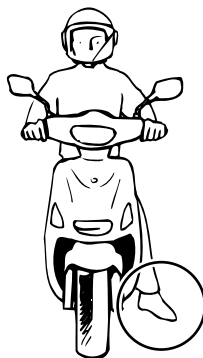
発進のしかた

1 メインスタンドを戻します。

1. 左手で後輪ブレーキレバーを握り、右手でスタンディングハンドルを持ちます。
2. 車を前に押し出してメインスタンドを戻します。

⚠警告

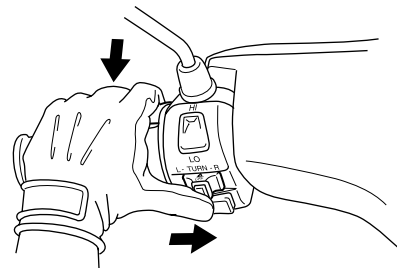
メインスタンドを立てたり戻したりするときは、スタンディングハンドルを持ってください。スロットルグリップを握って押し出すと、スロットルグリップが回り、車が走り出すことがあります。

2 車に乗ります。

1. 車の左側から右足をフットボードに乗せます。
2. シートに腰をおろします。
   このとき、車が倒れないように左足で支えてください。

⚠警告

飛び出し防止のため、走り出すまではエンジンの回転をむやみに上げないでください。

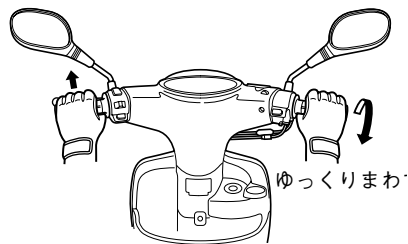
3 前後の安全を確認します。

1. 方向指示器スイッチを右側に入れ、発進の合図をします。
2. 前後の安全を確認します。

⚠警告

周りの安全を充分に確認してから発進してください。
特に雨の日や夜間は周りの状況が見えにくくなります。より慎重な安全確認が必要です。

4 **発進します。**

1. 後輪ブレーキレバーをはなします。
2. スロットルグリップをゆっくり手前に回して発進します。

ゆっくりまわす

要　点

発進後は方向指示灯をすみやかに消灯してください。

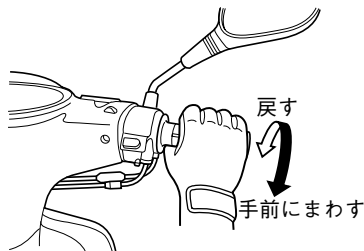
⚠警　告

スロットルグリップを急激に手前に回すと、急発進して危険です。

JAU02457

◆スピードの調整

スピード調整はスロットルグリップを回して行います。
戻す：
スピードが遅くなります。すばやく戻してください。
手前に回す：
スピードが速くなります。ゆっくり回してください。

戻す
手前にまわす

⚠注　意

上り坂で停止するときは、ブレーキを使用してください。スロットルグリップの操作で車を保持すると、クラッチなどが発熱して故障の原因となります。

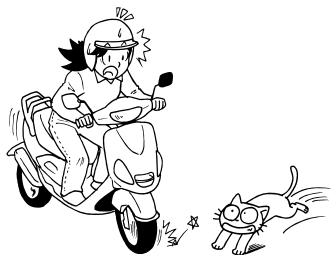
JAU02465

ならし運転のしかた

車を長持ちさせるために、ならし運転を行ってください。
乗りはじめてから約1か月間（または1,000km走行まで）は、不要なからふかしや急加速、急減速はしないでください。

JAU04598

ブレーキの使いかた

- スロットルグリップを戻し、前輪ブレーキレバーと後輪ブレーキレバーを同時に握り、ブレーキをかけます。
- ブレーキは徐々に、しぼり込むようにかけるのが上手なかけかたです。
  余裕をもったブレーキ操作をしてください。
- 不要な急ブレーキはかけないでください。
  急ブレーキをかけると、横すべりや転倒の原因となるときがあります。

⚠警　告

雨の日や水たまりを走行した後は、ブレーキのききが悪くなることがあります。
ききが悪いときは、安全な場所で前後の車に充分注意し、低速で走行しながらききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させ、ブレーキの湿りをかわかしてください。

要　点

- 前輪または後輪ブレーキだけを使うと、横すべりや転倒の原因となるときがあります。必ず前後のブレーキを同時にかけてください。
- 雨の日や路面がぬれているところ、雪道や凍った道路では、滑りやすく制動距離も長くなります。速度を落として、余裕をもった運転をしてください。
- 長い下り坂などで連続してブレーキを使用すると、フェード現象の原因となります。このようなときは、エンジンブレーキと断続的なブレーキ操作で走行してください。

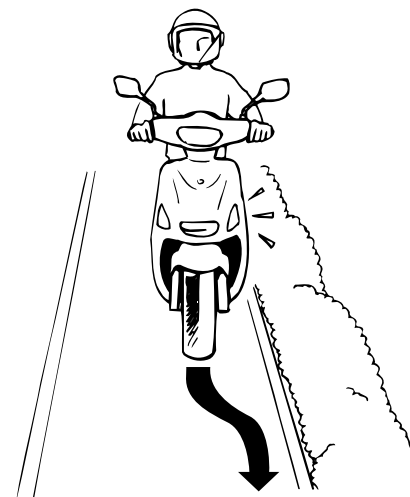
要　点

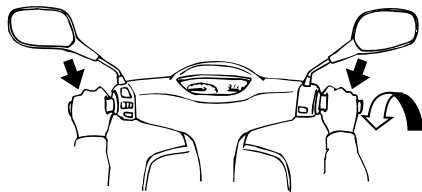
- フェード現象
  ブレーキ部の温度が上昇すると、ブレーキのききが悪くなるか、まったくきかなくなる現象。
- エンジンブレーキ
  走行中、スロットルグリップを戻したときにかかる制動力。

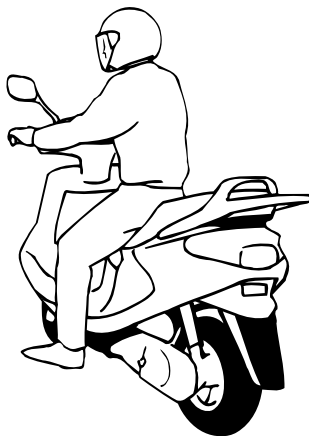
JAU04017

止まりかた

1　止まる場所が近づいたら

1. 方向指示器スイッチを左側にスライドさせ、左に寄る合図をします。
2. 後方の安全を確認します。
3. 周りの交通に注意しながら、徐々に左に寄ります。

2 ブレーキを徐々にかけます。

1. スロットルグリップを戻します。
2. 徐々に前輪、後輪のブレーキをかけます。
   不要な急ブレーキはかけないでください。

3 車が止まったら

1. 左足を地面につけて、車を支えます。
2. 方向指示器スイッチを押して、方向指示灯を消します。
3. メインスイッチをOFFにして、エンジンを止めます。
4. 車の左側に降ります。

4 メインスタンドを立てます。

1. 左手でハンドルを、右手でスタンディングハンドルを持ちます。
2. 車を垂直にし、右足でメインスタンドを降ろします。
   このとき、メインスタンドの脚が左右とも地面につくことを確認します。
3. 右足でメインスタンドを強く踏み込みながら、右手でスタンディングハンドルを引き上げます。

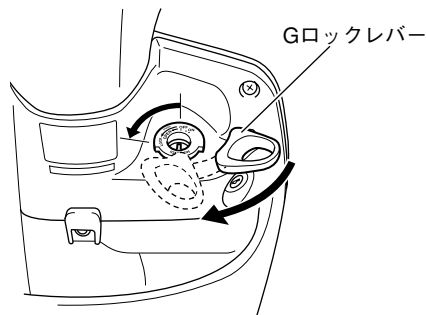
▲警　告

- **マフラーは熱くなっています。人が触れない場所に駐車してください。**
- **交通のじゃまにならない場所に駐車してください。**
- **平坦な場所に駐車してください。**
  やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。

JAU09144

◆駐車をするときは

盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロック、Gロックをかけ、キーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。

Gロックレバー

▲注　意

Gロックは、エンジンを停止し、後輪が止まってから使用してください。

JAU02482

日常点検

JAU03277*

日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、道路運送車両法で、１日１回の日常点検を行うことが義務づけられています。
運転する前に必ず実施してください。

警　告

- **日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

要　点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

AU02488

日常点検箇所／点検内容

詳しい点検の方法は、次頁以降の日常点検の方法および別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降を参照してください。

点検箇所	点検内容
ブレーキ	● ブレーキレバーの握りしろが適切で、ブレーキのききが充分であること。 ● ブレーキ液の量が適当であること。
タイヤ	● タイヤの空気圧が適当であること。 ● 亀裂、損傷がないこと。 ● 異常な摩耗がないこと。 ※ 溝の深さが充分あること。
エンジン	※ エンジンオイルの量が適当であること。 ※ かかり具合が良好で、かつ、異音がないこと。 ※ 低速、加速の状態が適当であること。
灯火装置および方向指示灯	点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行において異常が認められた箇所	当該箇所に異常がないこと。

（注）
※印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（長距離走行時や洗車、給油後など）に実施をしてください。

警　告

点検するときは下記の内容に注意してください。

- **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選んで行ってください。**
- **エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。**
  ヤケドに注意してください。
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。**
- **走行して点検するときは、交通状況に注意してください。**

JAU03528

日常点検の方法

◆ブレーキレバーの遊び、きき具合の点検

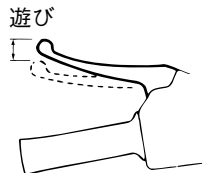
JAU04018

ブレーキの遊びの点検

ブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じるまでのレバー先端部の遊びが規定の範囲にあるかを点検します。
後輪ブレーキレバーの遊びは10〜20mm
（ブレーキレバーの遊びの調整は44ページ参照）
前輪ブレーキレバーの遊びは、無調整式です。

⚠警　告

前輪ブレーキレバーの引き具合がやわらかく感じられるときは、エアが混入しているおそれがあります。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

遊び

JAU02502

ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、前輪ブレーキ、後輪ブレーキを別々に作動させたときのきき具合を点検します。
ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

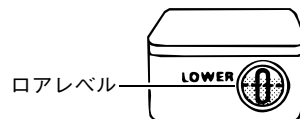
⚠警　告

走行して点検するときは、交通状況に注意し、低速で走行しながら行ってください。

JAU04776

◆ブレーキ液量の点検

マスターシリンダーキャップ上面を水平にして、ブレーキリザーバータンク内の液量がロアレベル以上にあるかを点検します。

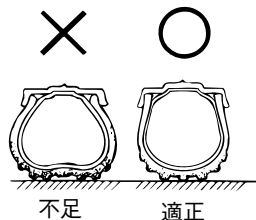
ロアレベル
LOWER

⚠警　告

ブレーキ液の減りが著しいときは、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。
ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU09123

◆タイヤの空気圧

タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないかを点検します。
たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。
（タイヤ空気圧は55ページ参照）

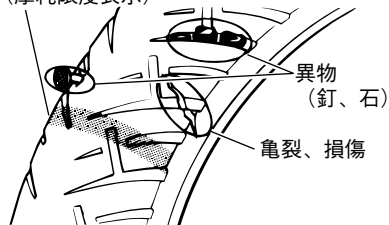
不足　適正

要　点

- タイヤの空気圧は徐々に低下します。見た目には不足していることが判りにくいタイヤもあり、少なくとも１か月に一度はタイヤゲージを使用して空気圧の点検を行ってください。
- 空気圧の確認は、タイヤが冷えているときに行ってください。走行後はタイヤが暖まっており、空気圧が高くなります。

JAU09124

◆タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないかを点検します。
この車はチューブレスタイヤを装着しています。タイヤの接地面や側面に釘、石、その他の異物が刺さったり、かみ込んだりしていないかを点検し、異常があったときはヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ウェアインジケーター
（摩耗限度表示）
異物
（釘、石）
亀裂、損傷

要　点

道路の縁石などにタイヤ側面を接触させたり、大きなくぼみや突起物を乗り越したときは、必ず点検してください。

JAU02509

◆タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

JAU09125*

◆タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。
タイヤに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

⚠警　告

- **タイヤを交換するときは必ず、指定タイヤを使用してください。指定タイヤ以外のタイヤを使用すると、操縦安定性に影響をおよぼすおそれがありますので、使用しないでください。**
- **過度にすり減ったタイヤの使用や不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となることがあります。取扱説明書に記載された空気圧を守り、過度にすり減ったタイヤは交換してください。**
- **タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。**

JAU02524

◆エンジンオイル量の点検

エンジンオイル量警告灯が点灯したら、早めにエンジンオイルを補給してください。

JAU04599

◆エンジンのかかり具合、異音の点検

エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。
エンジンから異音がしないかを点検します。

JAU02541

◆低速、加速の状態の点検

暖機運転後に、アイドリングがスムーズに続くかを点検します。
スロットルグリップを徐々に回してエンジンを加速したとき、スロットルグリップもエンジンもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき、エンジンストップ（エンスト）やノッキングなどが起きたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02547

◆灯火装置および方向指示灯の点検

エンジンを始動します。

- ヘッドライト、テールランプが点灯するかを点検します。
  同時にヘッドライト上下切り替えスイッチをHI　LOにし、上向き、下向きに切り替わるかも点検します。
- 前輪ブレーキレバー、後輪ブレーキレバーを別々に握り、ブレーキランプが点灯するかを点検します。
- 方向指示器スイッチを操作し、前後左右の方向指示灯が“カチカチ”音を伴って点滅するかを点検します。
- レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

JAU02552

◆運行において異常が認められた箇所の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。

JAU02968
定期点検整備

JAU03279
定期点検整備の実施

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、6か月点検と１２か月点検の２種類があります。

警　告

- **定期点検整備を怠ると重大な事故、ケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

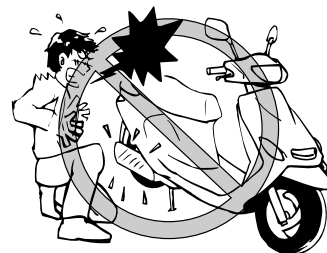
要　点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

JAU02555
定期点検整備の方法

定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。
実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

要　点

- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。

警　告

点検するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
- **エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。**
  ヤケドに注意してください。

- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。**
  風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。
- **走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

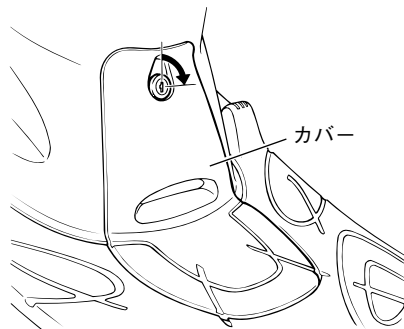
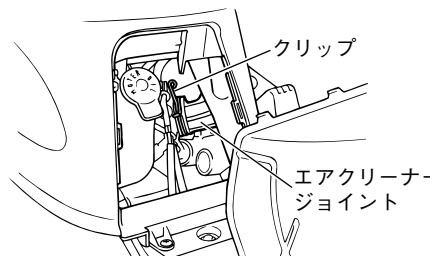
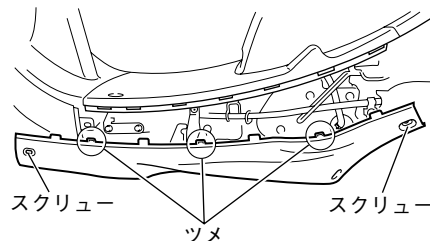
JAU02566

エアクリーナーエレメントの点検

エレメントを取り出し、汚れによる詰まりなどを点検します。
ほこりなどが著しく多い場所を走行したときは、定期点検期間より早めに点検・清掃を行ってください。

JAU04085

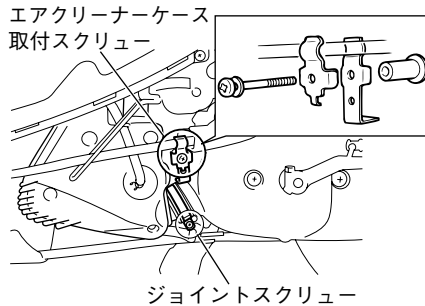
◆エアクリーナーエレメントの取り外し

1. キーを時計方向に回してロックを解除し、カバーを開けます。

2. クリップを握り、エアクリーナージョイントを外します。

3. スクリューを外し、左のサイドモールを取り外します。

⚠注　意

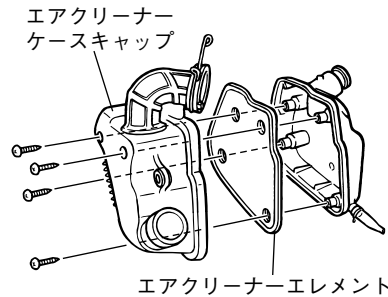
サイドモールの取り外し／取り付け時に、爪部を破損しないよう注意してください。

4. エアクリーナーケース取付スクリュー
を取り外し、ジョイントスクリューを
ゆるめます。

エアクリーナーケース
取付スクリュー

ジョイントスクリュー

5. エアクリーナーケースを取り外します。

6. エアクリーナーケースキャップ取付ス
クリューを取り外し、エアクリーナー
エレメントを取り外します。

エアクリーナー
ケースキャップ

エアクリーナーエレメント

JAU02630

◆エアクリーナーエレメントの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。
（エレメントの清掃方法は、46ページ参照）

JAU02635

車体各部の給油脂状態の点検

車体各部の給油脂状態が充分であるかを点検します。
異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02643

バッテリーの点検

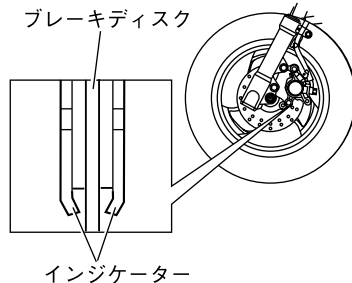
この車のバッテリーは密閉式です。
バッテリー液の補充、点検は不要です。
バッテリーに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU04020

ブレーキパッドの点検

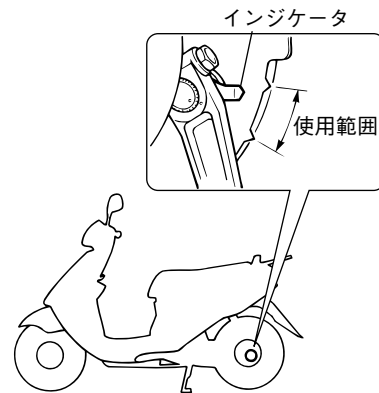
＜前輪ブレーキ＞
ブレーキパッドのインジケーターとブレーキディスクのすき間で摩耗の状態を点検します。
インジケーターとブレーキディスクのすき間がなくなったら、ヤマハ販売店でブレーキパッドを交換してください。

ブレーキディスク
インジケーター

JAU04152

ブレーキシューの摩耗点検

＜後輪ブレーキ＞
後輪ブレーキレバーをいっぱいに握ったとき、インジケーターが使用範囲から外れるとブレーキシューの使用限度です。ヤマハ販売店で交換・整備を受けてください。

インジケータ
使用範囲

JAU02662

やさしい整備

JAU03281

やさしい整備

点検をして車に異常が認められたときには、調整、清掃、交換などの整備が必要となります。ここでは、通常行われることが多い簡単な整備方法を説明しています。

⚠警　告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。
点検・整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

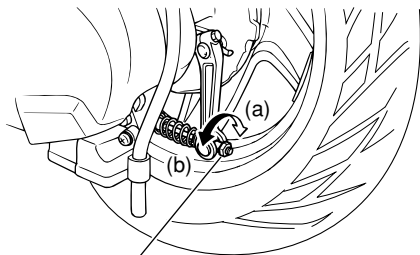
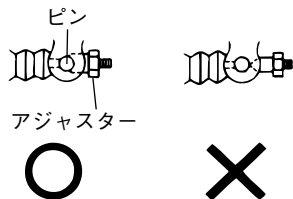
- **点検・整備は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
- **エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。**
  ヤケドに注意してください。
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。**
  風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。
- **走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。**

要　点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

JAU02668

ブレーキの遊びの調整

<後輪ブレーキ>
後輪ブレーキレバー先端部の遊びが10～20mmになるように、アジャスターで調整します。

1: 時計回り（a）に回すと、遊びが少なくなります。
2: 反時計回り（b）に回すと、遊びが多くなります。

要　点

アジャスターは、必ずピンとかみ合わせてください。

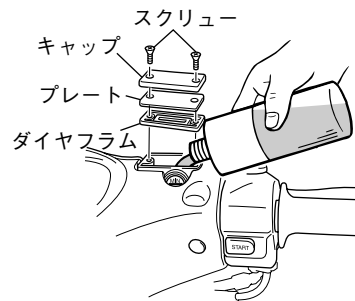
⚠警　告

ブレーキ調整後は、必ずブレーキランプの点灯と、そのタイミングを確認してください。

<前輪ブレーキ>
前輪ブレーキは無調整式です。

JAU03861*

ブレーキ液の補給

1. リザーバータンクのまわりをきれいにし、異物がタンク内に入らないようにします。
2. スクリューを外し、キャップとダイヤフラムとプレートを取り外します。
3. ブレーキ液をロアレベル以上補給します。
4. ダイヤフラムのかみ込みに注意して、スクリューでキャップを取り付けます。

指定ブレーキ液：
ヤマハ純正ブレーキフルードＢＦ－４（ＤＯＴ－４）

⚠警　告

- ブレーキ液は、銘柄や性能が異なるものを混入しないでください。
  銘柄や性能が異なるブレーキ液を混入すると、ブレーキのきき具合やブレーキ系統の部品に悪影響を与えるおそれがあります。
- ブレーキ液を補給するときは、リザーバータンク内にゴミや水が混入しないようにしてください。
- 液面はブレーキパッドの摩耗と共に下がってきます。
  液が早く減少するようでしたら、お買い上げのヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。
- ブレーキ液は安全のために１年毎の交換をおすすめします。

⚠注　意

- ブレーキ液の補給は、入れすぎに注意してください。入れすぎると、ダイヤフラムなどを取り付けたときに、あふれます。
- ブレーキ液が塗装面やプラスチック、ゴム類に付着すると部品が腐食することがあります。付着したら、すぐにふき取ってください。

JAU02720

トランスミッションオイルの交換時期

交換時期
初回：１か月点検時または1,000km走行時
２回目以降：10,000km走行毎

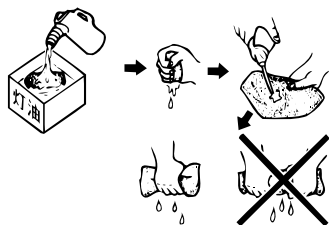
定期交換時オイル量：0.11L

推奨オイル：ヤマハギヤオイル

JAU02725

エアクリーナーエレメントの清掃

1. エアクリーナーエレメントを取り外します。(40ページ参照)
2. エアクリーナーエレメントをきれいな灯油で洗い、軽くしぼります。
3. ME-Rフィルターオイルに浸してから乾いた布きれなどで包み、軽くしぼります。
4. エアクリーナーエレメントを取り付けます。

⚠警　告

ガソリンや引火性の高い洗浄剤は燃えやすいので、使用しないでください。

⚠注　意

- **エアクリーナーエレメントの取り付けが悪いと、ゴミやほこりがエンジン内部に入り、摩耗や出力低下を起こして耐久性に影響を与えます。確実に取り付けてください。**
- **洗車時にエアクリーナーケースに水を入れないでください。内部に水が入ると、始動不良などの原因になります。**

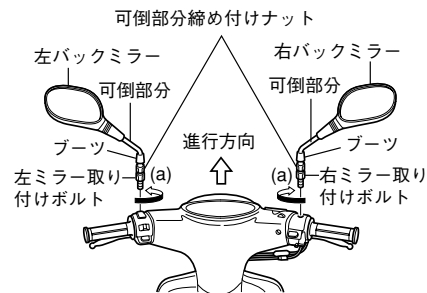
JAU09148*

バックミラー

◆バックミラーの脱着のしかた

- 右バックミラーは左ネジです。右ミラーを取り外すときは、右ミラー取り付けボルトを（a）方向に回します。
- 左バックミラーは右ネジです。左ミラーを取り外すときは、左ミラー取り付けボルトを（a）方向に回します。

⚠注　意

自由に回転する部分（可倒部分）を締め付けているナットを、緩めないようにしてください。

- バックミラーの取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

JAU09145

バッテリー

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、バッテリーを取り外して清掃します。

警　告

バッテリーは引火性ガス（水素ガス）を発生しますので、取り扱いを誤ると爆発し、ケガをすることがあります。次の点を必ず守ってください。

- **火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。爆発のおそれがあります。**
- **補充電は風通しのよいところで行ってください。**
- **ガソリン、油、有機溶剤などを付着させないでください。電そう割れの原因となることがあります。**
- **落下などの強い衝撃を加えないでください。**
- **バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。**
- **子供の手の届くところに置かないでください。**

応急手当

- **万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときは、すぐに多量の水で洗い流してください。**
- **目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。**

注　意

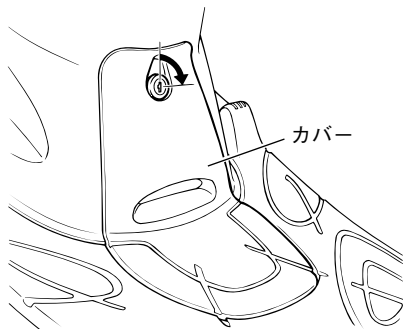
このバッテリーは密閉式の12Ｖです。

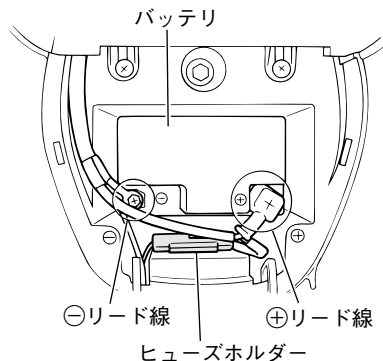
- **このバッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。**
- **補充電には、密閉式バッテリー専用充電器を使用してください。くわしくはヤマハ販売店にご相談ください。**
- **長期間ご使用にならないときは、3か月ごとに補充電してください。**
- **バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。**

JAU04087

◆バッテリーの取り外し

1. メインスイッチをOFFにします。
2. キーを時計方向に回してロックを解除し、カバーを開けます。

カバー

3. ⊖（マイナス）側リード線を外し、次に⊕（プラス）側リード線を外します。

バッテリ
⊖リード線
⊕リード線
ヒューズホルダー

4. バッテリーを取り外します。

◆バッテリーの取り付け

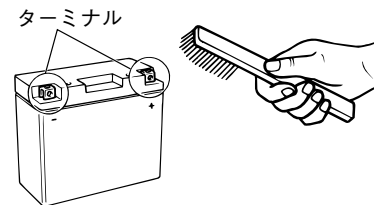
取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

JAU02809

◆ターミナル部の清掃

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、やわらかいブラシなどで清掃します。また、白い粉がついているときは、ぬるま湯を注いでよくふき取ります。

ターミナル

JAU04088

ヒューズ

バッテリー前方のヒューズホルダーにセットされています。

規定ヒューズ：7A

ヒューズが切れたときは、原因を調べてから新品のヒューズと交換してください。

⚠注　意

- **交換するヒューズは、規格外のものを使用しないでください。**
- **指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。**
- **電装品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。**
- **洗車時ヒューズホルダーのまわりに水を強く吹き付けないでください。漏電や短絡（ショート）の原因になります。**

JAU04089

◆ヒューズの取り外し

1. ヒューズホルダーを開けます。
2. ヒューズコード両端を持って引き上げます。
3. ヒューズコネクター部をスライドさせ、ヒューズを取り外します。

＜取り外し＞

ヒューズホルダー

ヒューズコネクター

コード

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

＜取り付け＞

真上から押し込む

⚠注　意

- **取り外すとき**
  ホルダーをむやみに広げずに、取り外してください。
- **取り付けるとき**
  ヒューズコネクター部に取り付け後、ヒューズが容易にスライド方向（横方向）に動かないか確認してください。ヒューズが容易に動くと発熱し、焼損の原因になります。

JAU02845

お車の手入れ

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。
すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなります。

JAU04024

洗　車

雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をサビやキズから守ります。

- 中性洗剤を使用して水洗いします。洗車後は柔らかい布で水分をよくふきとります。からぶきはキズの原因になりますので、しないでください。また、スチーム洗車や水道ホースなどで、車に直接圧力をかける洗車もしないでください。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。
- 車の塗装面保護のため、ワックスがけをしてください。

ワックス：ユニコンカークリーム

⚠警　告

- **洗車はエンジンが冷えているときにしてください。**
- **洗車時、ブレーキドラムに直接水をかけないでください。ドラム内に水が入ると、ブレーキの制動力が低下し、一時的にブレーキがきかなくなることがあります。**
  特に寒冷地では充分注意してください。
- **洗車後、ブレーキのききが悪くなることがあります。ききが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、ききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。**
- **ブレーキディスクやパッドに、ワックスやグリースなどの油脂類をつけないでください。ブレーキがきかなくなり、事故の原因となります。**

JAU09112

保管のしかた

車はできるだけ敷地内に保管し、屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。
なお、ボディーカバーはマフラーが冷えてからかけてください。

⚠注　意

- エンジンとカバーの間に布などを置かないでください。燃えることがあります。
- エアクリーナーや電装品などに水が入らないように注意してください。
故障の原因になります。
- マフラー内部に水がたまると、始動不良やサビの原因になることがあります。洗車時はビニール袋をかけるなどして、内部に水が入らないようにしてください。
- コンパウンドの入ったワックスは、プラスチック部分を傷つけますので、使用しないでください。

⚠注　意

長期間お乗りにならないときは、以下のことを守ってください。

- 保管する前にワックスがけをしてください。サビを防ぐ効果があります。
- キャブレター内のガソリンをすべて抜き取ってください。内部のつまりなどを防ぎます。
- バッテリーを取り外して、湿気のないすずしい場所に保管してください。また、3 か月ごとにバッテリーの補充電をしてください。
- 長期保管後の走行前には、バッテリーの充電、および各部の点検をしてください。

※補充電およびガソリンの抜き取りは、ヤマハ販売店にご相談ください。

JAU09147

アフターケア用品について

大切な車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。ヤマハの車には、ヤマハ純正用品をご使用ください。

◆オートルーブスーパーオイル

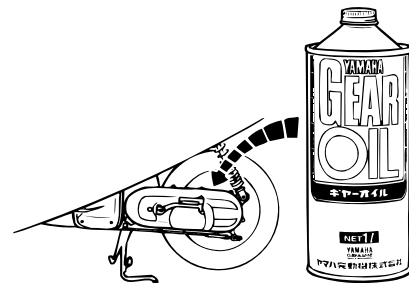
ヤマハの2ストロークエンジンにはヤマハオートルーブスーパーオイルをご使用ください。
オートルーブスーパーオイルは、ヤマハの2ストロークエンジンのために開発されたエンジンオイルです。

◆ユニコンカークリーム（ワックス）

塗装面の汚れを簡単にとり、手間をかけずに美しい光沢が得られます。また、どんな塗装にも使用できる伸びのよいワックスです。

◆ギヤオイル

極圧性、酸化安定性に優れ、油膜強度が高いギヤオイルです。アワ立ちもきわめて少ないため、ベアリングの腐食や摩耗を防ぎます。
交換時期になりましたら、必ず新しいギヤオイルと交換してください。

JAU04650

こんなときは

こんなときは、ヤマハ販売店にご相談される前に次のことを調べてください。

エンジンが始動しないときは？

次の項目を確認してください。

1. メインスイッチはONになっていますか？
2. ガソリンはありますか？
   燃料計にてガソリン量を確認してください。
   燃料計の指針が“E”のときは、最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
3. 前後輪どちらかのブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？
4. スロットルグリップを回さずにスタータースイッチを押しましたか？

以上のことを確認してから、26ページの「エンジンのかけかた」の方法でエンジンをかけなおしてください。

スターターモーターが回らないときは？

スタータースイッチを押してもスターターモーターが回らないときは、次の項目を確認してください。

1. メインスイッチはONになっていますか？
2. 前後輪どちらかのブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？

以上のことを確認しても、スターターモーターが回らないときは・・・・

- メインスイッチをONにして、ホーンスイッチを押します。ホーンが鳴らないときは、ヒューズ切れが考えられます。49ページを参照してヒューズを点検してください。
- ヒューズに異常がないときは、28ページを参照してキッククランクでエンジンを始動し、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ランプ類が点灯しないときは？

次の順序で点検してください。

1. メインスイッチがONになっていますか？（ヘッドライト、テールランプの場合はエンジンが始動していますか？）
2. 各スイッチを作動させていますか？
3. ホーンスイッチを押したときに、ホーンは鳴りますか？

- ホーンが鳴るときは、ランプ自体の球切れが考えられます。55ページの規格に合わせて、同じものと交換してください。
- ホーンが鳴らないときは、ヒューズが切れていることがあります。49ページを参照してヒューズを点検してください。

⚠注　意

電球は、正規の規格と同じものと交換してください。これ以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

走行中にエンジンが止まったときは？

ガソリンはありますか？
燃料計でガソリン量を確認してください。
燃料計の指針が “E” のときは、最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
上記のことを確認してから、26ページの「エンジンのかけかた」の方法でエンジンをかけなおしてください。

走行中にエンジンオイル量警告灯が点灯したときは？

早めにエンジンオイルを補給してください。
補給すると、エンジンオイル量警告灯は消えます。
オイルが不足したまま走行すると、エンジンが故障する原因となりますので注意してください。

JAU02902

サービスデータ

製品仕様

機種名称	グランドアクシス YA100W	原動機種類	2ストローク、クランク室リードバルブ	バッテリー型式	YTX5L-BS
車名・認定型式	ヤマハ・BD-SB06J	総排気量	101㎤(cc)	バッテリー容量	12V4Ah
全長	1850mm	内径×行程	52.0×47.6mm	点火方式	CDI
全幅	680mm	圧縮比	6.0：1	点火プラグ	BPR7HS
全高	1085mm	最高出力	7.4kW(10PS)/7000r/min	ヒューズ	7A
軸間距離	1275mm	最大トルク	11N・m(1.1kg・m)/6000r/min	タイヤサイズ 前	110/70-12 47J(チューブレス)
最低地上高	110mm	エアクリーナー形式	湿式ウレタンフォーム	タイヤサイズ 後	120/70-12 51J(チューブレス)
乗車定員	2名	1次減速比	3.133	タイヤ空気圧 前	175kPa(1.75kgf/㎠)
車両重量	95kg	2次減速比	3.333	タイヤ空気圧 後	225kPa(2.25kgf/㎠)
※定地燃費	39km/L(60km/h)	変速比	2.045～0.781	電球 ヘッドライト	12V35/36.5W×1(ハロゲン)
最小回転半径	2000mm	ガソリンタンク容量	6.5 L	電球 ブレーキ/テールランプ	12V18/5W
				電球 方向指示灯	12V10W×4
				電球 メーターランプ	12V3.4W×1、12V1.7W×1
				電球 ヘッドライト上向表示灯	12V1.7W
				電球 エンジンオイル量警告灯	12V1.7W
				電球 方向指示器表示灯	12V1.7W×2

※定地燃費は定められた試験条件のもとでの値です。走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件によって異なります。

JAU09115

ユーザー情報

JAU09122

二輪車を廃棄する場合は？

廃棄を希望する場合は？

廃棄を希望される二輪車がある場合は、お近くの「廃棄二輪車取扱店」にご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは？

（社）全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されているお店が「廃棄二輪車取扱店」です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口として、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。

Motorcycle Recycling
廃棄二輪車取扱店

厚生省生衛第521号
広域廃棄物処理指定業指定店
平成3年7月1日
社団法人 全国軽自動車協会連合会

廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル費用とは？

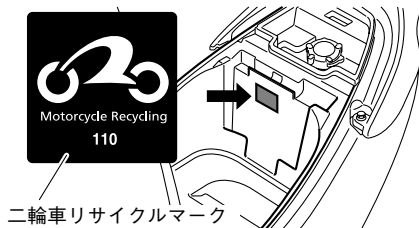
廃棄二輪車を適正に処理し、再資源化する費用です。二輪車リサイクルマークが車体に貼付されている二輪車は、リサイクル費用をメーカー希望小売価格に含んでいますただし、リサイクル費用には運搬および収集料金は含まれていませんので、廃棄二輪車取扱店または指定引取場所までの運搬・収集料金は、お客様の負担になります。運搬・収集料金につきましては、廃棄二輪車取扱店にご相談ください。

二輪車リサイクルマークの取り扱い

この車には、下図の位置に二輪車リサイクルマークが貼付されています。

廃棄時に二輪車リサイクルマークの有無を確認しますので、絶対に剥がさないでください。二輪車リサイクルマークは、剥がれや破損による再発行、部品販売の取り扱いはございません。

剥がれや破損でリサイクルマーク付き対象車かどうかが不明の場合は、下記へお問い合わせください。

Motorcycle Recycling
110

二輪車リサイクルマーク

廃棄二輪車に関するお問い合わせについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」または下記へお問い合わせください。

（財）自動車リサイクル促進センターホームページ
http://www.jarc.or.jp/
二輪車リサイクルコールセンター
電話番号　０３－３５９８－８０７５
受付時間　９時３０分～１７時００分
（土・日・祝日・年末年始等を除く）

JAU09117

サービスマニュアル（別売）の紹介

サービスマニュアルには、点検・調整や分解・組立の方法を写真やイラストを用いて説明してあります。車の概要や構造を理解するためにご利用ください。

サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください。

グランドアクシス （YA100） サービスマニュアル 部品番号 基本版：ＱＱＳ-ＣＬＴ-000-5FA 追補版：ＱＱＳ-ＣＬＴ-010-5FA 追補版：ＱＱＳ-ＣＬＴ-011-5FA 追補版：ＱＱＳ-ＣＬＴ-012-5FA

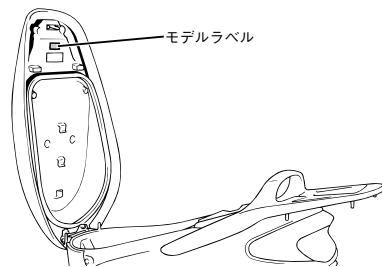
※追補版は、マイナーチェンジなどで機構に変更があったときに、その変更部分のみを説明したサービスマニュアルです。基本版とあわせてご使用ください。

JAU09119

車両情報

◆モデルラベル

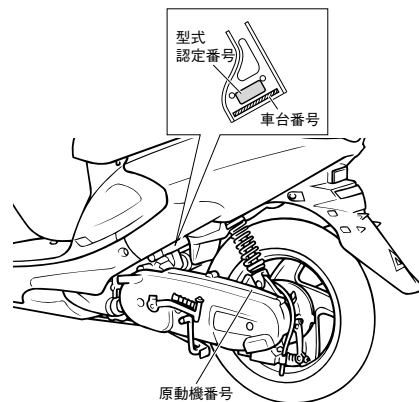
パーツオーダー、アフターサービスなどに使用します。

モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化したものです。ご相談の際には、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。
モデルラベルは、シート裏に貼り付けてあります。

あなたの車の情報を記入し、控えにしてください。

車　名　は	グランドアクシス YA100W
モデルラベル	製品仕様を示しています。 ○ カラーリングを示しています。 ●

◆車台番号、原動機番号、型式認定番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。

詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

あなたの街のあなたのお店

最寄りのお客様相談窓口については、メンテナンスノートの巻末をご覧ください。

QQS-CLT-105-5FA

YAMAHA

ヤマハモーター台湾株式会社
中壢市中華路2段3號

PRINTED IN TAIWAN
2006 .10 - 0.3 1
(J)